NIE実践報告

1．タイトル：新聞記事を活用して、日本の農業を考えよう

2．学校名

新潟県長岡市立与板中学校

3．実践者名（代表者名）

平片　信次

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　27人

6．単元（本時の学習課題）名

「日本の農業地域の現状と課題」

7．目標（狙い）

・新聞記事等などから、日本の農業の概要や問題点について意欲的に追求し、課題について考えることができる。

8．評価の視点

新聞記事等から、日本の農業の課題に対して、自分なりの考えをもてたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

地理的分野　「日本の農業地域の現状と課題」　6時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)食料自給率低下の実態を理解し、日本の農業についての問題意識をもつ。(1時間)
(2)減反政策を行った理由や、後継者不足、生産放棄地増加の背景を理解する。(1時間)
(3)食糧法制定や補助金の交付等の農業政策の概要を理解する。今後、多額の補助金を出し減反政策を続けるべきか、減反政策を廃止し自由に作るべきかを考える。(2時間)
(4)果樹、畜産、促成栽培、近郊農業、高冷地農業などの農業の工夫や特色について理解する。(2時間)

(留意点)
・「買われる農地」の新聞記事から食糧確保が世界的な課題であることをつかませ、食料や農業に関心をもたせる。
・減反政策支持と不支持の新聞記事から、両方の立場を理解したうえで、今後の稲作の方向について考えさせる。
・新聞記事から分かることや、自分の考えを発表させるなど、班の話し合い活動を充実させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞記事等を通して食料や農業に関する事実から、驚きや疑問が生まれた。そして、今後解決しなければならない問題として、切実に受け止める気持ちが生まれた。

12．成果と課題

新聞活用を通して、現実に進行している問題であることに気づくことができた。また、その現実の問題が、自分たちの生活と関係していることに気づき、自分たちの問題として受け止めることができた。